

ひまわり通信

SSKS
No.82



平成二十八年年度 連協施設見学会報告

理事長 隅 一 清

今年の世田谷区障害者団体連絡協議会(以下連協)では昨年の東北三陸被災地の施設見学会に次いで、福島県のいわき市の施設を訪ねる事になりました。

九月四日(日)に区役所前を出発して一路福島に向かいました。杉田会長はマイクロバスに身障の会の参加者を乗せて、他は昨年と同じ大型バスに乗車、総勢四十名の参加でした。

首都高速から常磐自動車道に入り、中郷SAで昼食をとり最初の施設チャイルドハウス「ふくまる」に着き、会議室で曾我理事長の話を聞きました。前の施設は完全に津波で流され、盛土をする時間も無く、すぐに新しい船の形をした施設を作られたとの事でした。外はすぐに海で、七米を越える防波堤が出来上がっていました。

震災後、五年を過ぎて、忘れかけられているので昨今見舞金などは、ほとんど無く、経営は大変との事で、連協からの見舞金に感謝していました。

その後、付近をバスで一周しましたが、防波堤が高く、海もほとんど見えない有様でした。

住宅はほとんどが高台の方に移転したという事で、新築の家もまばらで、寂しい感じでした。宿泊は「かんぼの宿いわき」で、松原越しに、穏やかな海も見えて、津波があったとは思えない風景でした。夜は、今度も響貴永幸さんのショーがあり、大いに盛り上がりました。

翌日は、市内の高台にあるNPO法人いわき自立生活支援センターを訪ねました。施設は、現在プレハブで、中を見る事は出来ませんでしたが、近くの公民館の会場で長谷川理事長からお話や映像で今日までの経過をお聞きしました。現在新しい施設



を建設中との事です。震災後、周囲の高台は地価が高騰して、住宅地として販売されるとすぐに完売とか。建設費も震災前と比べると一三〇%〜一四〇%に値上りしているそうです。

昼食は、昨日訪問したチャイルドハウスふくまると同系列の「道の駅よつくら港」の食堂で頂く事になり、各自好きなものを注文しました。一階の店には、鮮魚などは、まだ漁が出来ないので、他県からの冷凍物ばかりでした。

再びバスに乗って、語り部の話を聞きに行きました。語り部さんの話は、震災当時の生々しい話で、どうして自分が助かったか、助からなかった人は、津波など、来るはずがないと、自宅に帰った人が多かったとの事でした。

三階の資料室には、当時の大津波の写真が多く展示されていて、テレビの画面で、幾度も見た光景が広がっていました。

今回の一泊二日の施設見学会の旅は、昨年とまた違った意味で非常に良かったと思います。

まだまだ復興は進んでいないというのが、参加者全員の感想だと思えます。



被災地を訪ねて

サニーけあサポート・實井茂人

昨年に続き東日本大震災被災地の見学会に参加させて頂きました。

今回は四倉港にある「チャイルドハウスふくまる」と、いわき市の「いわき自立生活センター」にて被災された方々の話を聞くことが出来ました。

当事者の方の話は想像を絶するほどの現実ですが、我々には現実味を帯びない時が多々あります。襲いかかる津波から命からがら逃げ切ることが出来た人の話は、映画の中のシーンのようであり現実と認めるのに時間がかかってしまいます。

震災から五年半、時間の経過がそうさせるのか、語り部の落ち着いた口調からはとても現実とは思えない事が平然と語られたりします。時には冗談交じりの笑顔で話される現実には経験した人でないと口に出れない事であり、普通に語る事が出来るようになるまでには相当の苦労があった事と思います。

美しい太平洋が広がり「東北のハワイ」と呼ばれたいわきの海岸、そこは海と共に人々が生活していた場所でしたが津波により大きく様変わりしてしまいました。

現在は海岸に沿って7・2メートルの防波堤工事が進められています。国道6号線から見るとの出来た風光明媚な景色は灰色のコンクリートで隠され、堤防の上に登らない限り以前のような光景は見る事が出来ません。

まだまだ復興の道半ばですが、新たに防災緑地を設けたり、地域の小学生が災害に備えて「まちあるきマップ」を作成したりと、未来に向けて確実に新しい一步を踏み出している事を実感出来た研修でした。

震災後のいわき市を訪ねて

伊藤 恵美子

世田谷区障害者福祉団体連絡協議会主催の「施設見学会」のバス旅行。二台のバスに分乗して九時に世田谷区役所を出発。東北に向かうにつれ晴天になってきた。途中SAで昼食。水戸なので納豆そばを頼んだら、とても美味しかった。道の駅よつくら港隣のチャイルドハウスに立ち寄り、津波で流された海岸線に沿ってドライブ。高さ七、八mの防波堤のかさ上げはいまだに工事中。「この辺にあった家はすべて流された」とのお話を伺いながら穏やかな海を眺める。夕方かんぼの宿いわきに投宿。美味しい夕食と宴会を楽しみ、ゆつくりと露天風呂につかりました。

二日目は気持ち良い快晴。NPOいわき自立生活センターを見学。道の途中に立ち並ぶ仮設住宅を見て、五年半過ぎてはまだ自宅に戻れない人達がいる事を思い知らされました。次に地域防災交流センター「久之浜・大久ふれあい館」に立ち寄り、語り部よりお話を伺う。この地区は原発から三十km。震災で六九名が犠牲になった。

三階の展示室には津波の写真等を展示。当時の凄まじさを伝えている。その教訓を踏まえ、この建物を防災拠点施設として整備したとの事。再び道の駅よつくら港に戻り昼食。買い物を済ませて帰路につきましました。



ひまわり句会

菅野孝夫 選

初蟬に信号一回見送りぬ
行く先はいつも病院秋日和
鍋の蓋ずらして覗くおでんかな

小松原 錦子

奥入瀬の滝の音なり百合の花
吊花に滴の光る秋日和
金木犀こぼれ落ちて香りけり

高橋 民枝

アイスバーガリガリ君のターコイズ
鉢植のオリーブの実やただ一つ
新蕎麦の青みほのかや天気雨

宮沢 みどり

山の日や大江戸線の地下階段
天高し山のホテルの水飲み場
栗菓子をもと分け合ふ後の月

大谷 のり子

亡き夫と梅酢に鱧の湯引かな
八十の母の面影盆の月
雨あがる橋の上から月を見て

小田原 郁代

婦恋の玉蜀黍の甘さかな
朝一番窓全開に秋の風
山と谿スイスの秋を満喫す

亀井 歌子

真夏日や塩気多めの握り飯
熱帯夜隣の家の子泣く
初物の細身の秋刀魚焼き上がる

竹内 ひな子

カルピスや淡き夢見し夏の海
湯上りの汗をさへつラムネかな
鰯雲洗濯物を取り込んで

堀之内 千代

行事報告

◎八月暑気払い食事会

於 世田谷美術館内レストラン

八月二十日(土)

今年も緑の中のレストランで食事しようとして、半年前から三度通いつめて、やっと場所を確保しました。駐車スペースもあり、四台の車両で参加者を移送しました。

宴会場での食事会なので会場費が取られました。例年はイタリア料理なのですが、今年はフランス料理?で、参加者の皆様には好評でした。私は最近ほとんど外食をしなくなったので、食事の会場を探すのは、理事のOさんにお任せしています。今回の会場も昨年勧められて試食に行きました。ランチタイムの食事とは内容が違うので、あまり参考にはなりません。世田谷美術館では、学芸大学附属中学の同輩達が有志で美術展を開いているので、何度か来ていました。来年もまたどこか安くて美味しいレストランを探して楽しい食事会が出来るといいですね!

会員の皆様も良い所があったら教えてください。
参加者三十二名



くりはま花の国公園

九月二十五日(日)

今年の九月は、連日天気が悪く一週間で日照時間が一日分もないとか、一ヶ月の半分以上が雨か曇りといった毎日でしたが、この日は朝から好天に恵まれ、最高のバスハイク日和でした。第三京浜を通って横浜横須賀道路を通れば一時間チョットで「くりはま花の国公園」に着きます。情報では、台風や雨天が続いたので、コースは1分咲きとか。昼前に到着、すぐにレストランで昼食になりました。下見に来た時に海鮮料理を頼んだつもりが、出てきたのは松花堂で揚物料理でした。私の確認ミスで、申し訳ありませんでした。

昼食後はフラワートレインバスに乗って山頂へ。山頂のレストラン前で下車して少し歩くと、眼下に東京湾が一望出来ました。折りから千葉の金谷港から久里浜港に入るフェリーも見えました。帰りは三崎港の売店に寄って買い物をして帰京しました。

参加者 二十九名



◎秋の研修旅行 一泊二日

那須高原を訪ねて

十月二十二日(土)・二十三日(日)

秋の研修旅行は、久しぶりに那須高原に行く事になりました。マイクロバスを借りて、九時に野沢を出発。首都高から東北道へ。昼食を予約してあった瑞穂蔵に直行したのですが、一軒茶屋の交差点手前で渋滞にはまり、遅くなったので席が空くのを待つ事になりました。

ここの田舎膳は、炊きたてのご飯が食べられるので有名です。その後、南ヶ丘牧場に立ち寄ってから、茶臼岳のロープウェイで山頂へ。紅葉は中腹あたりがきれいでした。那須休暇村は、ロープウェイ乗り場のすぐ下にあるので、周囲の紅葉は最高でした。

翌日はトリックアートを見学して、那須アウトレットで昼食後、買い物を楽しみました。塩原のもみじ谷大吊り橋を渡って、下見の時に予約しておいた猿回しの「しんちゃん」と記念撮影をしたり、宙返りをみたりして感激! 行楽シーズンの大渋滞にはまりながら、無事帰京しました。

参加者 十七名



行事予定

※この予定はすべてお知らせで案内済みです。

◎小田原早川のみかん狩り

十二月二日(金)

毎年恒例になった?小田原早川のみかん狩りに今年も行きます。

例年区民ふれあいフェスタ展の前の土曜日だったのですが、翌日がフェスタ展で一日中立つていて疲れてしまうので金曜日になりました。

◎日時 十二月二日(金) 九時出発

◎行程 野沢く厚木く小田原早川みかん山のみかん狩り…。

◎費用 一人 五千円 (移送料別)

バス代、昼食代、一人二キロのお土産付きです。

※参加希望者は十一月二十日迄に事務所に連絡して下さい。

◎区民ふれあいフェスタ展

十二月四日(日)

第三十六回の区民ふれあいフェスタが今年も区民会館や区役所の中庭で開かれます。

当会では、バザーを開いています。また障害者週間記念作品展では、ひまわりの集いの各種作品を展示しています。

また区長表彰式では、自立生活者や自立生活努力者等と共に、自立支援功労者として、永年会の会計や各種教室のお手伝いをして来た亀井さんが表彰されます。

ぜひ皆様会場に来て、応援して下さい。移送希望者は、会にご連絡下さい。

◎忘年旅行会(日帰り)

十二月十一日(日)

かんぽの宿九十九里浜旭

震災の時に三階まで津波に襲われて、半年ばかり休館して、再開、その後、当会では二十五年の暮には、ここで忘年会を開いています。

今年は、身障者の会の杉田会長の会と合同で忘年会を開くことになりました。

前回の時は杉田会長他三人の方々がお餅をついて頂き、ご馳走になりました。

今回は、会長の会でバスを出して頂けるので、バス代の負担が無くなりましたので、ぜひ参加して頂き、今年一年の疲れを、温泉と食事で癒して下さい。

◎日時 十二月十一日(日) 九時出発

◎行程 先 九十九里浜かんぽの宿旭

◎会費 一人五千円(宴会代・入浴代他)(個別移送料別)

※参加希望者は十一月末迄に事務所に連絡下さい。



編集後記

秋の研修旅行の時期は例年十月中旬か下旬の土、日に行くので、毎年の様に私の誕生日(十月三十日)祝いを夜の宴会場で、シャンパンを抜いて、皆さんでお祝いをしてくれたり、ケーキを用意したりして祝ってくれます。

そもそも最初の頃は誰も何もしてくれなかったの…(誕生日を知らないのが当然ですが…)ある年の研修旅行の時に、自分がケーキと酒を用意して、PR?したのが始まりでした。

お陰様で?すっかり定番になって?今年は大好きな芋焼酎や、望月ドライバーの特別室?を借り切つての演奏会?までやって頂き、感謝感激でした。今月上旬、運転免許の更新も無事終わりました。六十八歳の時から認知症の検査もあったので、今年で四回も講習を受けました。

たぶん今回の更新が最後だと思えます…。S記



「ひまわり通信」82号

2016年11月5日発行

編集 特定非営利活動法人

編集責任者 ヒューマンハーバー世田谷

住所 世田谷区野沢3-4-18-102

TEL 03-34487-5081

FAX 03-34422-9281

発行人 障害者団体定期刊行物協会